

ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)



春日井 建

KASUGAI Ken 建

代表作

『未青年』（1960 年）
『行け帰ることなく』（1970 年）
『春日井建歌集』（1977 年）
『東海詞華集』（1982 年）
『友の書』『白雨』（1999 年）
『水の蔵』（2000 年）
『井泉』（2002 年）

ほか多数

活動略歴

1938 年 江南市生。父母はともに歌人で 12 歳で名古屋市に転居、市立向陽高等学校に通った。
1955 年 南山大学在学中、歌誌『短歌』誌上に初期作品発表。
1957 年 短歌同人誌『核』創刊に参加。翌年角川『短歌』の「新唱十人」に参加、その後荒井晃、浅井慎平、須藤三男らと『旗手』創刊。
1960 年 塚本邦雄、岡井隆、寺山修司らと『極』創刊。『未青年』刊行（序文・三島由紀夫）。
1970 年 『行け帰ることなく』刊後、作歌を中断。
1979 年 歌誌『短歌』編集発行人を父・瀧より継承。
1980 年 岡井隆、永井陽子らと超結社「中の会」結成。
1985 年 県内大学国文学教授職に就任。
1992 年 愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。中日歌人会委員長就任。
1998 年 第 34 回短歌研究賞受賞。
2000 年 第 34 回遼空賞受賞。
2001 年 愛知県教育表彰文化功労賞受賞。
2004 年 没。

参考／『評伝 春日井建』岡嶋憲治・著（2016 年 短歌研究社刊）
『NHK 短歌 新歌人群像 春日井建』荻原裕幸（2005 年）

KASUGAI Ken (1938– 2004/ Tanka Poets)

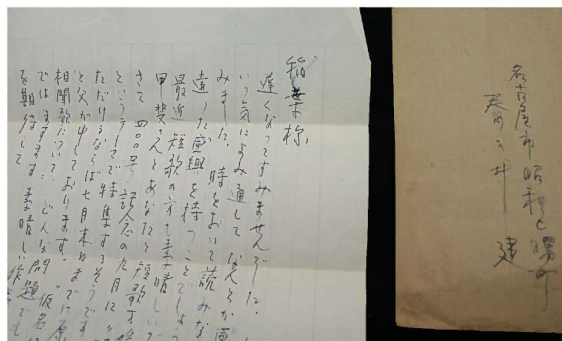
He grew up in Nagoya. He published his works in Tanka, a poetry magazine run by his father, and his tanka poems, published at the age of 17, attracted attention. His collection of tanka poems, "Mi-Seinen," published before he turned 20, is characterized by its aesthetic and immoral style and was highly praised by Mishima Yukio. He was a leading poet of the Showa and Heisei periods, and established a dramatic world of tanka that was in tune with the human psyche and reality.

ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)

名古屋市収蔵の資料
／春日井建

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to KASUGAI Ken in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.←浅井慎平氏より額付寄贈いただいた
春日井氏ポートレート。撮影は浅井氏。
昭和43年30歳の頃。↑直筆詩原稿。右上より「モナリザ」、左上「瀕死の春2枚」
草稿、下段「瀕死の春2枚」。他多数原稿色紙を収蔵。↑直筆書簡。春日井氏は稲葉京子氏の短歌の才能を認めて、
『短歌』400号記念号に作品を掲載したいと申出ている。↑直筆絵画5枚。これらは2015年碧南市藤井達吉現代美術
館「画家の詩、詩人の絵」展で公開。

↑愛用のデスク、パソコン、オーディオ機器、海外土産など。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及・目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。